

＜先週の説教から＞

『ルカ ④ — 敵を愛し、祝福を祈ること』

武田真治牧師

箴言 20:22~24 ルカ福音書 6:31~36

今日の箇所はイエス様が”愛”について教えておられる有名な箇所です。”愛”とは、この世的に言えば、今日の聖書の最初にありますように「自分を愛してくれる人を愛すること」でしょう。或いは「自分によくしてくれる人に善いことをする」ことだと。しかし、イエス様はそれ以上の”愛”があると云われるのです。それが「しかし、あなたがたは敵を愛しなさい」という言葉なのです。

この言葉の最初の「しかし」は（ブレーン）という言葉で普通は「更に（＝英語の more）」と訳されます。この世的な愛より「更に、敵を愛する愛」を持ちなさいと言われていのです。その場合の「あなたがたは」とは誰に向かって言われておられるのでしょうか？ この章の27節に「わたしの言葉を聞いているあなたがたに言うておく」とありますから、イエス様を信じて従っている弟子たちだけでなく、少なくともイエス様の話や言葉を聴いて生きて行こうとしている人たちへの“教え”であると言い得ます。故に、イエス様のみ言葉に沿って生きようと思っているならば「敵を愛する愛」を持ちなさいと。イエス様がこのように言われるということは、その「敵を愛すること」は出来るようになると考えておられると言い得ます。では、そうしていくためには具体的に何を為せばよいのでしょうか？

それが次の「返してもらふことを当てにしないで、貸しなさい」という言葉によく表されています。それはつまり”見返りを求めない”で人を愛することだと。「敵を愛する愛」は“人に見返りを求めない”こと、即ち、“自分が損をすることを厭わない”ことだと。考えてみれば、私たちは相手に対して『これだけ愛してあげたのだから少しは私のことを大事にしてよ』とか『せめて、ありがとうぐらいは言ってよ』と思います。何も見返りを求めない”愛”はまことの”愛”かもしれません。よく親が子に与える”愛”だと言われます。

ただ、親でも我が子に何かしらの見返りを密やかに期待しているところが内心、あったりするものではないでしょうか？

ただ、この後のイエス様の言葉がすごいと私は思います。「そうすれば、いと高き方からのたくさんの報いがある」と言われている点です。この言葉は、その見返りを「天に求めなさい」と言われていることになります。私たちは一切誰からも、神様から見返りを求めない愛こそ、理想の愛だと思いますが、人間にはその完全な愛は実現できないと考えておられるのです。それが出来たのは“イエス様の十字架の愛”のみでしょう。だから、人に報いを求めず、天に報いを求めることで「敵を愛せ」と言われておられるのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 7月30日(水) 20:00

II. 7月31日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈祷主題: 平和聖日を覚えて

担当者: (水) 小草 (木) 新元

祈りに覚える人: 丸茂さん 水澤さん

【教勢報告】

主日礼拝 男20 女49 計69

祈祷会 I. 男4 女2 計6 II. 男1 女7 計8

日曜学校 幼稚科6 小中科14 計20

【次週主日礼拝】 8月 3日(日)

聖書: 詩編 96:10~13

ルカによる福音書 6:37~38

説教: 「平和聖日・ルカ④—人を裁くな!」

武田真治牧師

讃美歌: 18(1)、32、371、373、453、
81(1~2)、28(1)

【次週当番表】

司式: 金刺長老 奏楽: 勝村 礼拝: 保坂長老

配餐: 保坂 相浦 飯田 茨木 各長老

献金: 高橋 高橋 受付: 西尾 森本

会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田

看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・牧師と語る会 ・お茶の会 ・長老会

66-30

週報

2025年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 7月 27日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549